

環境経営レポート

2023年度

有限会社うりた重機興業

対象期間：2023年11月1日～2024年10月31日



【目 次】

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要（事業者名、所在地、事業の概要、事業規模等）	2
対象範囲（認証・登録範囲）	2
環境経営活動組織図及び役割・責任・権限	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	6
代表者による全体評価と見直し・指示	6

発行日：2024年11月4日

有限会社うりた重機興業

環境経営方針

□ 基本理念

有限会社うりた重機興業は、建設活動に携わる者は、その活動が環境に深く関わっていることを十分に認識し、環境に配慮した事業活動を行わなければならないと考えます。従って、社会の一員として環境保全の重要性を深く認識し、地域の豊かな環境を末永く、守っていく事を基本理念とします。

□ 行動指針

- 1 エネルギー使用量の効率的利用によりCO2の削減に努める。
- 2 事務所や、現場の廃棄物を削減あるいは再生利用に努める。
- 3 水使用量の削減に努める。
- 4 製品またはサービスの環境配慮に努める。
- 5 環境関連法規等や当社が約束したことを遵守する。
- 6 社会貢献活動(ボランティア)に積極的に参加する。
- 7 環境経営方針は、全従業員に周知する。
- 8 環境経営の継続的改善に努める。

制定日:2012年7月1日
改定日:2024年11月1日
有限会社うりた重機興業
代表取締役
瓜田 誠

【組織の概要】

(1) 事業者名及び代表者氏名

有限会社うりた重機興業
代表取締役 瓜田 誠

(2) 所在地

本 社 兵庫県豊岡市日高町野々庄 776の18
資材倉庫 兵庫県豊岡市日高町野々庄 776の18
資材置き場 兵庫県豊岡市日高町野々庄 776の18

(3) 設立・資本金

創 業 1980年4月 設立 1998年12月
資本金 2,000万円

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 瓜田 誠 (TEL) 0796-42-3251
(FAX) 0796-42-3869

(5) 事業内容

総合工事業
建設業許可番号：兵庫県知事許可特定第651252号

(6) 事業の規模（2022年度）

100百万円

従業員数：本社 4名
敷地面積：本社 40㎡ 資材倉庫 55㎡ 資材置場 62㎡

(7) 事業年度

11月～翌年10月

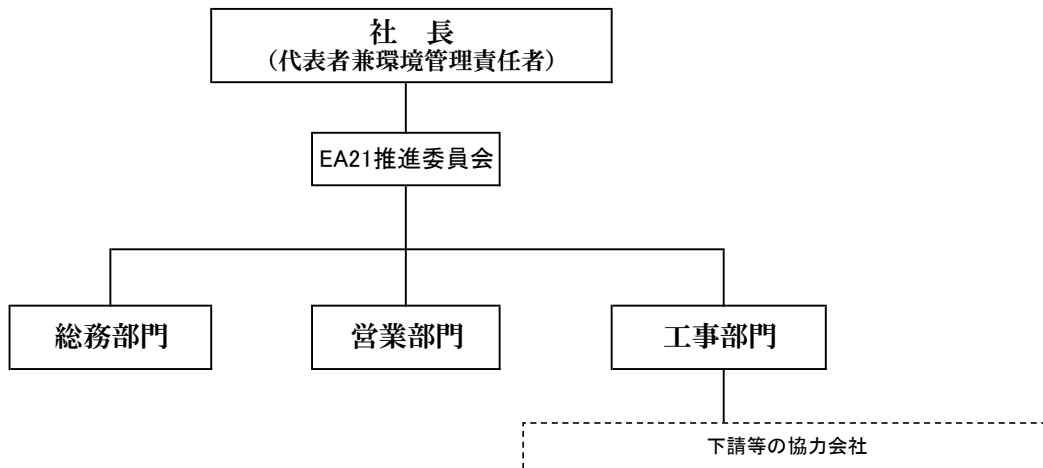
【対象範囲】認証・登録

☐ 全組織、全活動を対象範囲とする。

(1) 登録組織名 有限会社うりた重機興業

(2) 対象事業所 本社・資材倉庫・資材置き場

(3) 事業活動 総合工事業



	役割・責任・権限
社長（代表者兼環境管理責任者）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用等の準備 ・代表者による課題とチャンスの作成、定期的に見直し ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書の作成・確認・承認と実施状態の評価 ・全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの作成・確認・承認 ・環境関連法規などの取りまとめ表の作成と承認 ・環境委員会の取りまとめ ・環境への負荷及び取組の自己チェック記録の作成・確認・承認 ・外部からの苦情や要望等の受付と対応処理 ・緊急事態の想定及び対策の作成、訓練の実施と確認 ・問題点の是正処置及び予防処置の対応、結果の確認
EA21推進委員会	・環境経営活動計画の審議 ・環境経営活動実績の確認・評価 ・EA21推進委員会は月1回実施する。 ・代表者が議長を務める。
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・自主的・積極的に環境活動へ参加。

【主な環境負荷の実績】

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
電力使用量CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,159	1,369	1,743
ガソリン使用量CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	6,705	6,080	2,721
軽油使用量CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	10,168	11,218	7,080
CO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	19,032	18,667	11,544
産業廃棄物排出量 (※一般廃棄物の排出はありません。)	kg	410	30,130	400
水使用量	m ³	436	425	458

※ 2020年度電気事業者別二酸化炭素調整後排出係数：関西電力株式会社 0.351kg-CO₂/kWh

※ガソリン：二酸化炭素排出係数 2.32kg-CO₂/L 軽油：二酸化炭素排出係数 2.58kg-CO₂/L

【環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価】

□ 本社

環境経営目標	単位	基準年度 2020年度	2023年度		2024年度	2025年度
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力使用量の削減	kWh	3,996	3,916	4,965	3,876	3,836
	基準年度比		98%	124%	97%	96%
水道使用量の削減	m ³	459	450	458	445	441
	基準年度比		98%	100%	97%	96%
産業廃棄物排出量の削減	kg	1,960	1,921	400	1,901	1,882
	基準年度比		98%	20%	97%	96%
環境配慮商品の販売促進 (腐葉土の販売)	件	0	1	1	2	3
	基準年度比					

□ 現場

自動車燃料使用量の削減	ガソリン	L	2,734	2,679	1,173	2,652	2,625
		基準年度比		98%	43%	97%	96%
	軽油	L	8,291	8,125	2,744	8,042	7,959
		基準年度比		98%	33%	97%	96%

*EA21対象化学物質の使用なし

□ 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

*達成率：削減目標＝（目標÷実績）×100％ 向上目標＝（実績÷目標）×100％

*取組内容の達成状況：○できた。 △ままできた。×全くできなかった。

□ 本社

取組内容	達成状況	継続／変更	評価と次年度の取組み内容
電力使用量の二酸化炭素排出量の削減	達成率	79%	(目標未達成) ・空調温度の適正化及び節電に取り組んだが夏季の暑熱でエアコンによる電気使用量が増えた。 (次年度) ・節電等省エネ活動を継続する。
・空調の適正化（冷房26℃・暖房20℃）	○	継続	
・ブラインド・すだれを活用	○	継続	
・昼休憩は電気を消灯する	○	継続	
・LED照明、高効率空調設備への更新	○	投資	
水使用量の削減	達成率	98%	(目標未達成) ・若干だが夏場の水使用が増えた。 (次年度) ・引き続き節水に取り組む。
・節水の呼び掛け	○	継続	
・蛇口締めつけ確認	○	継続	
・水漏れの点検	○	継続	
産業廃棄物排出量の削減	達成率	480%	(目標達成) ・取壊し工事減少による影響で産廃の排出量が激減した。 (次年度) ・受注する工事の量により大きく変動するが、今後とも必要最小限の取壊しと搬出、処分場での適正な処理工程を継続実施する。
・建設副産物のリサイクル	○	継続	
・分別の徹底	○	継続	
環境配慮商品の販売促進 (廃業土の販売)	達成率	100%	(目標達成) ・コロナの影響も一段落して1件の実績ができた。 (次年度) ・引き続きイベントの機会を通じて販売活動を実施する。
・ホームページ・パンフレットでPR	○	継続	
・イベントでPR及び販売	○	継続	

□ 現場

ガソリン使用量の削減	達成率	228%	(ガソリン使用量は、目標達成) ・営業、現場等のガソリン車に使用、仕事量により左右される。仕事量の減少したことの影響が大きい。 (次年度) ・引き続き取り組んでいく。 (軽油使用量は、目標達成) ・大型重機を扱う工事現場に使用、アイドリングストップ、エコ運転を実施した。 (次年度) アイドリングストップ、エコ運転を継続実施すること。
・アイドリングストップの実施	○	継続	
・エコ運転の徹底	○	継続	
軽油使用量の削減	達成率	296%	
・アイドリングストップの実施	○	継続	
・エコ運転の徹底	○	継続	

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	規制内容	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	一般廃棄物、産業廃棄物（建設廃棄物処理委託契約書、産業廃棄物委託契約書、マニフェスト交付、保管、交付状況報告書等）、適正処理	遵守
フロン排出抑制	フロン類使用機器の定期点検と記録の保存 業務用エアコン、冷蔵・冷凍庫等の有無の事前確認、発注者への書面説明、 書面の3年間保存	遵守
消防法	危険物の適正な取扱い・保管	遵守
下水道法	排水基準の遵守	遵守
建設リサイクル法	再資源化等の実施義務 発注者への再資源化等完了報告と記録の保存	遵守
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守

※ 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守している。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。また、訴訟もありません。

遵守確認年月日:2024年10月31日
環境管理責任者：瓜田 誠

- 毎日朝礼を通じて双方向のコミュニケーションを実施している。
- 外部から環境に関する苦情、要望などありませんでした。

□ 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：地震の発生 避難訓練	
■実施日：2024年7月31日	■実施場所：本社、工事現場
■参加者：瓜田、西垣、北村、小幡	■実施内容： ・避難訓練
■評価：	手順書の変更の必要 ☐ あり ☒ なし
本社では火災対応手順に基づいてスムーズに避難訓練が実施できた。現場では地震の発生を想定した避難訓練を実施して避難場所へのスムーズな移動を確認した。	

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

（１）全体の評価
電力使用量は夏季の暑熱によるエアコンの負荷が増えたため未達成となった。ガソリン・軽油の使用量は、大型重機を扱う工事現場が減少したため大幅に目標を達成した。産業廃棄物の排出量についても工事現場の減少により大幅な目標達成となった。

（２）見直し・指示
各工事車両のアイドリング停止や社用車のエコドライブ、必要最小限の水道使用やエアコンの適切な使用など、継続的にエコ行動の実施を行う。環境配慮商品（腐葉土）についても再利用できるようにさまざまな機会を通じて販売活動を実施する。

項目	見直しの必要性	必要に応じて変更指示
環境経営方針	無し	－
環境経営目標	無し	－
環境経営計画	無し	－
実施体制	無し	－
その他の要素	無し	特になし

2024年11月1日
代表取締役
瓜田 誠

次回の活動レポートの発行は、2025年11月を予定